

# 令和5年度小中英語パートナーシップ事業 推進地域実践報告(会津地区)

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

拠点校Ⅰ (会津若松市立第五中学校)	実践の具体的な内容	取組による成果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 小中連携したCAN-DOリストの作成と授業の振り返りでの活用</li> <li>□ Small Talkの計画的な実践と、イメージマップ等を手がかりにした言語活動による発信力の強化</li> <li>□ 拠点校Ⅱの学習内容や教材の積極的な活用(発表動画の共有等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ CAN-DOリストを小中で共有したことが、互いの子どもの現状や学習内容の把握において有効であった。</li> <li>○ 身近な話題で言語活動を継続して行うことによって、話すことに対する意欲が高まった。また、GTEC Core, GTEC Juniorの各領域にも良い成果として表れた。</li> <li>○ 既習事項の活用により、生徒に気付きを与え、理解を深めさせた。</li> </ul>
拠点校Ⅱ (会津若松市立城南小学校)	実践の具体的な内容	取組による成果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 目的・場面・状況の設定の工夫</li> <li>□ ICT機器の活用</li> <li>□ 言語活動における中間指導の工夫</li> <li>□ 小中連携したCAN-DOリストの改善と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目的・場面・状況を考慮して授業改善を進めることにより、外国語を話すことに対する児童の必要感と意欲を高めることができた。</li> <li>○ ICT機器の活用により、児童が自分のペースで学習を進めたり、インプットする英語量を十分に確保したりすることができた。</li> <li>○ 中間指導の工夫により、自分の考えや思いをどのような英語の表現と伝え方で話せばよいかを自ら考えるようになった。</li> <li>○ CAN-DOリストの活用により、児童が自分の成長を実感しながら学習を進めることができた。さらに、小中共通のCAN-DOリストを使うことにより、互いの学びについて理解が深まり、小中連携の推進につながった。</li> </ul>

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

協力校

（会津若松市立門田小学校）

実践の具体的な内容

取組による成果

- 音声と文字をつなぐ指導
- CAN-DOリストの改善と活用
- 言語活動における中間指導の工夫

- CAN-DOリストを改善した結果、児童が自分の学習により自覚的になることで、聞くこと・話すことだけでなく、読むこと・書くことについても目標達成を意識して学習することができた。
- 中間指導の工夫により、自分の考えや思いを、どのような英語の表現と伝え方で話せばよいかを自ら考えるようになった。

